

都の西北

第44号

2025年9月30日 発行：社会保険労務士稲門会
発行人：若林正清 編集人：社会保険労務士稲門会 広報委員会

第25回定期総会・講演会 2025年6月14日（土）

2025年6月14日（土）午後1時30分より「第25回定期総会」が、午後3時より鈴木俊晴・早稲田大学 社会科学総合学術院教授による講演会が開催されました。このたびの定期総会並びに講演会は、昨年度に引き続き会場参加&リモート参加のハイブリッド形式で行われ、会場参加50名（懇親会ベース）、WEB参加18名の併せて68名の会員参加（来賓参加15名）のもと開催されました（開催場所&発信元：AP東新宿）。

開催日：2025年6月14日（土）

第1部 定期総会（13：30～14：30）

第2部 講演会（15：00～17：00）

講師：早稲田大学 社会科学総合学術院教授 鈴木 俊晴 先生

演題：「さらに進む労働柔軟化政策の動向と社労士の役割の変化」

第3部 懇親会（17：30～19：30）



※題字は故小林昌尚名誉会長の筆によるものです。

【第1部 定期総会】

第1部の定期総会は、見付季代子副幹事長（東京会）の司会により、若林正清会長（三重会）の開会の挨拶の後、議長に上田純子副会長（東京会）を選出して議事の審議に入りました。まず、香川忠成幹事長（埼玉会）から令和6年度事業内容および決算報告、渡井保仁会計監査（東京会）から会計監査報告があり、それぞれ承認されました。さらに香川幹事長から令和7年度事業計画案および予算案が提示され、ともに承認されました。引き続き役員改選について審議され、笹井健司（岡山会）、西尾厚（東京会）、村井小桃（東京会）各会員の幹事就任がそれぞれ承認されました。こうして予定されていた議事のすべてが決議された後、大津章敬副会長（愛知会）から8月に当会と社会保険労務士三田会との合同主催で名古屋にて実施される勉強会・交流会の案内がありました。さらに、香川忠成幹事長から新たに幹事に就任された3名の紹介があり、最後に杉山秀文副会長（東京会）の閉会の挨拶をもって第1部・定期総会を終了しました。総会終了後、香川忠成幹事長から今回初参加の会員（内、事務指定講習受講中のオブザーバー参加1名）のご紹介（会場参加3名・Web参加2名）がありました。



【上写真上段】若林正清会長（開会の挨拶）／上田純子副会長（議長）／見付季代子副幹事長（司会）・香川忠成幹事長【中段】渡井保仁会計監査／大津章敬副会長（三田会との合同勉強会・交流会in名古屋について）／笹井健司新幹事・村井小桃新幹事・西尾厚新幹事【下段】杉山秀文副会長（閉会の挨拶）／今回初参加の会員並びにオブザーバー参加の皆さん

【第2部 講演会】

第2部の講演会は、大津章敬副会長（愛知会）の司会により、笹井健司幹事によるご講演者の紹介の後、鈴木俊晴 早稲田大学 教育・総合科学学術院教授（右写真）から「さらに進む労働柔軟化政策の動向と社労士の役割の変化」と題してご講演いただきました。ご講演後、木村辰幸幹事長代理（東京会）から来年1月に予定されている当会設立25周年記念式典への参加の呼びかけがありました。続いて大学からのご挨拶として早稲田大学総長室募金担当部長の鈴木宏隆様からお言葉を賜り、林智子副会長（東京会）の閉会の挨拶をもって第2部・講演会を終了し、全員で記念撮影をしました。



【上写真上段】笹井健司幹事（講師の鈴木先生ご紹介）／木村辰幸幹事長代理（25周年記念行事について）
【下段】早稲田大学総長室・鈴木宏隆募金担当部長／林智子副会長（閉会の挨拶）



【第3部 懇親会】

第3部懇親会は、引き続きAP西新宿内で、羽鳥智雄副幹事長（東京会）の司会により行われました。若林正清会長による開会の挨拶の後、校友会からのご挨拶として早稲田大学総長室募金担当部長の鈴木宏隆様からお言葉を賜り、ご来賓を代表して社会保険労務士駿台会（明治大学）の真家裕介会長、社労士黒門会（専修大学）の永井哲也会長、社会保険労務士白山会の安田翔太会長（東洋大学）からご挨拶をいただき、ご出席いただいた他大学の校友社労士会、及び他土業稲門会、出版関係の方々をご紹介させていただきました。そして、村上芳明顧問（東京会）の乾杯の挨拶の後、歓談に移りました。途中、曾布川哲也副会長（東京会）から母校で行われている支援講座および教科書出版についての報告があり、最後に木村辰幸幹事長代理の指揮のもと全員で校歌を斉唱し、和田泰明副会長（東京会）の閉会の挨拶をもって第3部・懇親は盛況のうちに中締めとなりました。



【上写真上段】羽鳥智雄副幹事長（司会）／若林正清会長（開会の挨拶）／早稲田大学総長室・鈴木宏隆募金担当部長 【中段】社会保険労務士駿台会（明治大学）・真家裕介会長／社労士黒門会（専修大学）・永井哲也会長／社会保険労務士白山会・安田翔太会長（東洋大学）【下段】村上芳明顧問（乾杯の挨拶）／曾布川哲也副会長（支援講座および教科書出版について）／木村辰幸幹事長代理（校歌指揮）



社会保険労務士稲門会 令和7年度役員

名誉会長	藤原 久嗣	(昭40年卒—東京会)	幹 事	萱原 しのぶ	(昭62年卒—東京会)
相談役	村上 芳明	(昭41年卒—東京会)	//	川崎 幸男	(昭59年卒—東京会)
顧問	坂井 俊一	(昭36年卒—東京会)	//	北村 修一	(昭46年卒—長野会)
//	住吉 忠男	(昭36年卒—東京会)	//	黒川 立郎	(平16年卒—東京会)
//	大南 弘巳	(昭51年卒—東京会)	//	小泉 孝之	(平元年卒—滋賀会)
会 長	若林 正清	(昭55年卒—三重会)	//	近能 明正	(昭58年卒—栃木会)
副会長	上田 純子	(昭49年卒—東京会)	//	佐久間 章	(昭59年卒—東京会)
//	大津 章敬	(平 6年卒—愛知会)	//	* 笹井 健司	(令 3年卒—岡山会)
//	杉山 秀文	(昭58年卒—東京会)	//	佐竹 雅弘	(昭53年卒—埼玉会)
//	曾布川 哲也	(平17年卒—東京会)	//	佐藤 啓樹	(平16年卒—東京会)
//	林 智子	(昭54年卒—東京会)	//	佐野 正治	(昭50年卒—千葉会)
//	和田 泰明	(昭56年卒—東京会)	//	島野 真一	(平 6年卒—東京会)
幹事長	香川 忠成	(昭58年卒—埼玉会)	//	藤 英明	(平元年卒—東京会)
事務局長	市村 剛史	(平 8年卒—東京会)	//	長澤 千晴	(平 5年卒—東京会)
幹事長代理	木村 辰幸	(昭63年卒—東京会)	//	* 西尾 厚	(平10年卒—東京会)
副幹事長	見付 季代子	(昭61年卒—東京会)	//	二宮 孝	(昭54年卒—東京会)
//	羽鳥 智雄	(平14年卒—東京会)	//	花山 訓子	(平 9年卒—東京会)
会計担当幹事	徳村 万貫夫	(昭55年卒—千葉会)	//	福本 秀樹	(昭60年卒—埼玉会)
幹 事	浅見 浩	(平 4年卒—東京会)	//	堀内 勝利	(昭43年卒—東京会)
//	天沼 聡史	(平25年卒—東京会)	//	前澤 光則	(令 4年卒—静岡会)
//	荒 久美子	(平16年卒—東京会)	//	前田 康彦	(昭45年卒—東京会)
//	池内 恵介	(昭61年卒—東京会)	//	巻島 剛	(平 3年卒—東京会)
//	磯部 和代	(平18年卒—東京会)	//	松村 伸子	(昭58年卒—東京会)
//	市川 徹	(昭62年卒—埼玉会)	//	宮崎 博之	(昭53年卒—東京会)
//	太田 佳孝	(平 6年卒—東京会)	//	* 村井 小桃	(平29年卒—その他)
//	小笠原 悟	(昭60年卒—静岡会)	//	村越 吉美	(平 6年卒—東京会)
//	小笠原 浩之	(昭59年卒—秋田会)	//	森岡 三男	(昭44年卒—その他)
//	香川 賢司	(昭61年卒—神奈川会)	//	山浦 英一	(昭57年卒—東京会)
//	鎌田 勝典	(昭55年卒—東京会)	//	山下 律子	(昭52年卒—東京会)
//	鎌田 ひろ美	(昭58年卒—東京会)	//	横山 弘美	(昭55年卒—福岡会)
//	神谷 俊夫	(昭48年卒—群馬会)	//	若山 誉	(昭62年卒—神奈川会)
//	笠松 謙多郎	(昭56年卒—東京会)	会計監査	一杉 則夫	(昭42年卒—東京会)
//	蒲生 秀晴	(平 5年卒—東京会)	//	渡井 保仁	(昭56年卒—東京会)

「合同勉強会・交流会 in 名古屋」2025年8月29日(金)～31日(日)

社会保険労務士三田会との初の共同主催、名古屋にて初の地方開催を実現！



2025年8月29日(金)～31日(日)、社会保険労務士三田会(慶應義塾大学)との初の合同勉強会・交流会が名古屋にて開催されました。これまで両会の勉強会等はすべて首都圏で行われてきましたが、今回は初の地方開催です。8月30日(土)開催の勉強会には稲門会から30名、三田会から17名という多数の参加がありました。さらに前夜祭(8月29日)とし



てのバンテリンドームでのオール早慶野球戦観戦や、勉強会当日(8月30日)午前の熱田神宮参拝、翌日(8月31日)の犬山城観光、トヨタ産業技術記念館見学などのオプション企画された交流会催事にも、両会から多数の皆さんが参加されました。三田会との友好をさらに深めることができたと思います。



■合同勉強会

日時：8月30日(土) 13:30～16:30

会場：名南経営第2研修室(JPタワー名古屋33階)

【第一部】講演

演題：「中堅・若手社員のモチベーションを考えるー当世学生気質、理論のエトセトラー」

講師：愛知学院大学経営学部教授 関千里先生(1998年早稲田大学商学部卒)

【第二部】パネルディスカッション

テーマ：「深刻な人手不足の中で求められる人事労務管理の重要論点」

パネリスト：関千里先生、和田泰明当会副会長、深川淳三田会副会長

ファシリテーター：大津章敬当会副会長



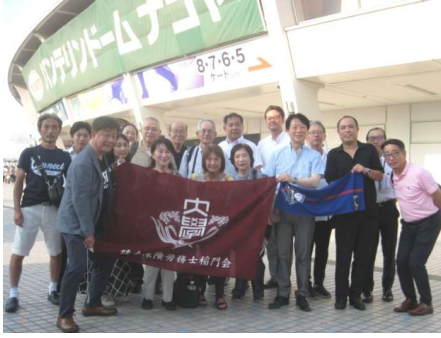
懇親会：「Lupinus (ルピナス)」



■【前夜祭】オール早慶野球戦観戦

日時：8月29日（金）18：00～20：00

○バンテリンドームナゴヤ



懇親会：中華料理「ピカイチ」（ドラゴンズファン聖地）



■【勉強会当日午前】熱田神宮参拝

日時：8月30日（土）10：30～12：00

○熱田神宮



■【翌日】犬山城・トヨタ産業技術記念館・ノリタケの森 (クラフトセンター&ノリタケミュージアム)
日 時：8月31日 (日) 8：30～15：00

○犬山城



○トヨタ産業技術記念館



○ノリタケの森 (クラフトセンター&ノリタケミュージアム)



支援講座

2025年度18年目の「支援講座」が無事終了、 2026年度も春・夏クォーターで実施します。

2008年より母校・早稲田大学において、社会保険労務士・行政書士・司法書士・税理士の四士業稲門会「稲士会」による大学との提携講座がスタートし（稲士会は現在、中小企業診断士を加えた五士業各稲門会で構成されています）講座名は「企業法務概論」でした（その後「労働・社会保障実務概論（早稲田大学校友会支援講座）」に改称）。講座の趣旨は、法律と実務の専門家である各士業の会員が、ゲストスピーカーとして母校の教壇に立ち、士業実務の知識を後輩学生の皆さんに伝授するとともに、それぞれの士業の業務の内容や社会的役割を伝えていくものです。講座は、どの学部の学生でも学年にとらわれずに履修することができる「オープン教育講座」であり、通常の授業と同様に科目登録単位制をとっています。



2008年度の最初の年の講座は、通期全28コマ（内、当会の担当は7コマ）、登録学生枠30名でスタート。翌年度からは、前期と後期に分けて学生を募集し（前後期各15コマ。内、当会の担当は前後期計7コマ）、募集枠は50名に拡大され、さらに後期は100名へと拡大され実施されました。2010年度の講座は、前後期各15コマ、全30コマで、それぞれの募集枠100名で実施されましたが（当会は前後期計8コマを担当）、学生の当講座に対する人気は高く、前後期各220名から300名前後の聴講応募者があり、最終的には、前期114名、後期106名で実施されました。

2011年度からは、各士業がそれぞれ単独講座を持つことになり、社会保険労務士の担当分野についても「社会保険労務士講座」として前期15コマの講義が行われることになりました（内3コマを当講座担当教授である早稲田大学法学学術院教授・島田陽一先生の門下である細川良先生にご担当いただきました）。2013年度の講座からは、従来の「提携講座」から現在の「校友会支援講座」へと呼称を改めました。

10年目2017年度の支援講座から、新たに導入されたクォーター制に沿って、秋クォーターの火曜日・金日の4時限目に15コマの講義が実施され、2017年は44名、2018年は49名、2019年度は34名、2020年度は94名（新型コロナ感染対策上、初のリモート講義となりました）、2021年度は26名、そして昨年2022年度は27名の学生が登録、それぞれ無事に全カリキュラムを終了しました。

2023年度からは、大学の1コマの授業時間が90分から100分に変更され、秋クォーターは15コマから14コマとなりました（当講座においては、学術講師分が2コマ、ゲストスピーカー分が12コマ）。それに伴い、改めて以下の趣旨のもとにカリキュラムの見直し・強化を行い、19名の学生が登録しました。

2024年度は、講座名を「社会保険労務士と学ぶ働く前に知っておきたいワークルールと人事・労務コンサルタントαβ」と改め、秋・冬クォーターでの実施とし、秋クォーター（α）、冬クォーター（β）のそれぞれにワークルールの内容と人事・労務コンサルタント的内容を組み込むことで、どちらのクォーターを受講しても講座名に即した完結性を満たすとともに、αβ両講座を通して受講することで、より一層知識が深まる授業設計とすることにしました。また、学術講師枠は廃止され、すべて当会会員が自前で講義を受け持つことになりました（受講登録者数：α86名、β89名）。

2025年度は春・夏クォーターで実施され（受講登録者数：α78名、β73名）、それぞれ7コマの講義と試験が無事終了しました。来年2026年度のカリキュラムは次ページのとおりとなります。時期が近くなれば大学のホームページでシラバスもご覧いただけます。聴講を希望される方や、2027年度以降のゲストスピーカーを希望される方は、曾布川哲也副会長（支援講座担当）までご連絡ください。ご連絡をお待ちしております。また、聴講の際には、講義が行われる教室に変更がないか、当会ホームページにて再度ご確認ください。（<http://sr-waseda.net>）

2026年度支援講座「社会保険労務士と学ぶ働く前に知っておきたい
ワークルールと人事・労務コンサルティングαβ」カリキュラム（1講義100分）

	通し 番号	コース 番号	授 業 日	テ ー マ	ゲストスピーカー
春 ク オ ー タ ー	1	α1	4月17日（木）	社会保険労務士と人事・労務コンサルティング	木村 辰幸
	2	α2	4月24日（木）	ワークルール①総論	笹井 健司
	3	α3	4月30日（木）	ワークルール②労働契約	河野 千怜
	4	α4	5月7日（木）	ワークルール③賃金	羽鳥 智雄
	5	α5	5月14日（木）	ワークルール④労働時間・休日・休暇	渡井 保仁
	6	α6	5月21日（木）	人事・労務コンサルティング①労働編	市村 剛史
	7	α7	5月28日（木）	試験後の特別講演：働き方の多様性	見付 季代子
夏 ク オ ー タ ー	8	β1	6月4日（木）	ワークルール⑤労働保険概論	太田 佳孝
	9	β2	6月11日（木）	ワークルール⑥社会保険概論	萱原 しのぶ
	10	β3	6月18日（木）	人事・労務コンサルティング②ワークライフバランス	荒 久美子
	11	β4	6月25日（木）	人事・労務コンサルティング③ハラスメント等労働者保護対策	村井 小桃
	12	β5	7月2日（木）	ワークルール⑦労働契約の終了	織田 京子
	13	β6	7月9日（木）	人事・労務コンサルティング④社会保険編	前澤 光則
	14	β7	7月16日（木）	試験後の特別講演：人事・労務コンサルティングの実際	大津 章敬

木曜日の4時限（15：05～16：45）（予定）

※ 会員の皆様の中で個々の講義内容に関心を持たれ聴講を希望される方、来年度以降のゲストスピーカーを希望される方は、支援講座担当・曾布川副会長にメール（tetsusob@gmail.com）にてご連絡ください。



2025年度支援講座
ゲストスピーカー

写真 [上段より]

- 木村 辰幸 会員 (α1)
- 笹井 健司 会員 (α2)
- 河野 千怜 会員 (α3)
- 羽鳥 智雄 会員 (α4)
- 渡井 保仁 会員 (α5)
- 市村 剛史 会員 (α6)
- 上田 純子 会員 (α7)
- 太田 佳孝 会員 (β1)
- 萱原しのぶ 会員 (β2)
- 荒 久美子 会員 (β3)
- 見付季代子 会員 (β4)
- 織田 京子 会員 (β5)
- 前澤 光則 会員 (β6)
- 大津 章敬 会員 (β7)

当会・若林正清会長が全国社会保険労務士会連合会の新会長に就任



2025年6月30日（月）パレスホテル東京（東京都千代田区）にて全国社会保険労務士会連合会の令和7年度通常総会が開催され、前日の6月29日（日）に実施された会長選挙において選出された当会の若林正清会長（三重会）が全国社会保険労務士会連合会の新会長に就任しました。今後も当会会員の皆さまとともに若林会長を支えていきたいと思っております。

就任挨拶をする若林正清会長
（2025年6月30日（月）
パレスホテル東京）

【若林会長の所信】

変革の時代を乗り越え、未来を共に創造する

～全国46,000人の会員が自信と誇りを持って活躍する社労士の未来～

1. 劇的な環境変化に対応し、新たな価値を創造する

生成AIの進化は、あらゆる仕事の進め方や社会の価値を大きく揺るがし、社労士も過去からの延長に「夢のある未来」を描くことが難しくなっています。私はこの新たな事業環境においても社労士が社会に大きな価値を提供できるよう、外部有識者を含めた研究チームの組成などの施策を通じ、社労士が社会から強く求められる未来を創造します。また労務監査やビジネスと人権などの業務についても社労士の新たな重要業務として確立し、「社会経済を担う大型資格」としての評価を得られることを目指します。

2. 社会貢献を拡大し、社労士のプレゼンスを高める

労働力人口の減少が進む中、社労士は企業の「人」に関する専門家として、社会から大きな期待を寄せられています。私はこの期待に応えるべく、我が国の経済発展と国民生活の向上に貢献するため、社会課題に対する情報発信を強化します。また行政や経済団体、マスコミ等との関係を強化し、社労士の社会的なプレゼンスを高めます。

3. 全国すべての会員の活躍を促進する

地方創生が叫ばれる中、全国すべての会員が社労士としての誇りを持って活躍できるよう、各地域の特性を踏まえた施策を都道府県会との対話を通じて推進していきます。また、研修の共有化や労働法、人事労務など全国レベルでの研修の充実を図ります。



【若林正清会長プロフィール】

昭和32年10月21日生まれ

昭和58年12月1日入会

【三重県社会保険労務士会】

平成9年5月～平成13年5月 理事

平成13年5月～平成24年3月 副会長

平成24年3月～令和5年5月 会長

令和5年5月～現在 名誉会長

【全国社会保険労務士会連合会】

平成24年6月～平成25年6月 理事

平成25年6月～平成27年6月 常任理事

平成27年6月～令和7年6月 副会長

令和7年6月～ 会長

連合会会長就任にあたって

全国社会保険労務士会連合会 会長
社会保険労務士稲門会 会長

若林 正清



皆さま、こんにちは。

このたび、6月の全国社労士会連合会会長選挙を経て、会長に就任いたしました。これまで副会長として5期10年積み重ねてきた経験を活かし、全国4万6千人を超える会員の皆さまの信頼と期待を担い、社会保険労務士制度の更なる発展に尽力してまいります。

同時に、社会全体では人口減少・少子高齢化・AIの進展・働き方の多様化といった大きな変化が進んでいます。こうした課題に対し、私たち社労士が専門家としてどのように貢献できるのか、その真価が問われている時代です。その責任を強く自覚し、決意を新たにしています。

社会保険労務士稲門会の皆さまには、これまでも多大なご支援をいただきました。そのお力添えなくして、今日の私の歩みはありません。あらためて深く感謝申し上げますとともに、日頃より親身にご指導くださった諸先輩方には、心より御礼を申し上げます。

さて、連合会会長として今後取り組むべき大きな課題の一つに、「労務監査業務の確立」があります。ここに二つの大きな潮流が生まれています。

第一に、本年6月に成立した第9次社労士法改正において、3号業務に「法令並びに労働協約、就業規則及び労働契約の遵守の状況を監査することを含む。」との文言が加わりました。これにより、社労士が従前から行っている労務監査に関する業務が、3号業務の相談・指導業務に含まれることが、法文上初めて明記された事になります。

第二に、人手不足分野における外国人材受入れを目的とした「特定技能制度」において、繊維業が新たに対象分野となり、受入れ要件の一つとして「JASTI監査」が導入されました。本年7月1日からJASTI監査対応社労士による監査が始まっており、今後は他業界への拡大も見込まれます。こうした動きは、私たちにとって労務監査業務推進の大きな機会と捉え、連合会としても委員会・部会を設け、制度設計や運用の検討を具体的に進めてまいります。

また、私自身、過去6年間社労士法改正を担当してまいりました。どれも重要な改正ですが、第1条が「目的規定」から「使命規定」に改正されました。従来は「この法律は」を主語として、法律そのものの目的が示され、その中で「事業の健全な発達と労働者等の福祉の向上に資すること」が位置づけられていました。しかし、改正後は「社会保険労務士は」を主語として据え、社労士一人ひとりに対して、直接的に使命が課される条文へと改正されました。これは、単に法律の趣旨を示すにとどまらず、各々の専門家としての存在意義と責務を、より明らかにしたものとなりました。

結びにあたり、連合会は、今後、皆さま一人ひとりの挑戦と努力を力強く支え、その成果が社会に確実に届くよう全力を尽くしてまいります。どうか、稲門会の皆さまには、ご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



労務相談を受けて感じること —急いては事を仕損じる—

社会保険労務士稲門会

織田 京子
(東京会)

従業員の能力不足や協調性の欠如に頭を悩ませる事業主は少なくありません。中小企業となると、従業員一人一人の役割が大きく、基本的な業務遂行能力や協調性が欠けている従業員がいることで企業経営そのものに影響を与える可能性があります。

○能力不足：業務を遂行するために必要な基本的知識や技術が著しく欠如していること。
○協調性の欠如：職場での人間関係を円滑に保つことができず、組織全体の和を乱すこと。
就業規則の解雇事由に該当するこれらの理由で解雇したいと思っていると企業からのご相談を受けることがあります。

解雇は使用者の申し出による一方的な労働契約の終了です。労働契約法第16条で、解雇は客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当と認められない場合は無効と規定されています。日本では労働者保護の観点から、解雇の有効性は厳しく判断され、特に漠然とした能力不足や協調性の欠如という理由での解雇は裁判において厳格に判断される傾向にあり、企業は慎重な対応が求められます。

企業はまずは問題改善のための指導や教育を行うなど、雇用継続のための努力が必要となります。それでも改善されない場合、大企業であれば、別部署への配転や職務変更などの道を模索することができます。一方、中小企業の場合、従業員数が少なく、他に配属できるような部署もなく、配転による問題解決は難しいのが実情で、結果、企業は解雇を検討せざるを得ない状況になるのです。

解雇に伴うリスクを考えれば「できるだけ穏便に、本人に納得してもらった上で退職してもらいたい」というのが企業の本音であり、退職勧奨による合意退職が現実的な解決策となります。会社として雇用継続のための改善努力を尽くしたことや本人の適正や将来性を踏まえると今の職場では十分に力を発揮できないことなどを丁寧に本人に伝え、退職に向けた合意形成を図る必要があります。

解雇のご相談を受けるたびに感じるのは「採用段階」の大切さです。特に中小企業は慢性的な人手不足から「とにかく人を確保すること」が最優先となり、適性や職務能力、職場環境との相性を十分見極めないまま採用する傾向があります。その結果、入社後に問題が顕在化し、長期的なトラブルやコスト増といったリスクを招きかねないのです。人材は人財ともいわれるように健全な企業運営のために必要かつ大切な財産です。だからこそ、履歴書や職務経歴書だけでなく、面接時の態度や適性検査などを通じ協調性や適合性をしっかり見極めて採用し、また採用後も試用期間を活用し、適性を見極めるために十分な時間を取るべきなんだ…と事業主のお話を伺いながら『急いては事を仕損じる』ということわざが頭をよぎるのです。

《プロフィール》

平成7年法学部卒業後、地元北九州市の企業に勤務。結婚を機に横浜市に転居し、専業主婦として10数年間、家事と子育てを中心とした生活を送る。平成30年社会保険労務士試験合格、令和3年特定社会保険労務士付記。現在、労働保険事務組合併設の社会保険労務士事務所に勤務し、主に労務相談、就業規則作成、手続き代行業務に従事。

稲士会

第21期定期総会等開催のご報告 2025年9月13日(土)

社会保険労務士・行政書士・司法書士・税理士・中小企業診断士の五士業から成る稲門会「稲士会」の第21期定期総会・講演会が2025年9月13日(土)に早稲田大学大隈会館で開催されました。

【開催日時】2025年9月13日(土)

定期総会 14:00~14:30

講演会 14:40~15:40

懇親会 16:30~18:30

【開催場所・参加費】早稲田大学大隈会館N201・202会議室

懇親会：高田牧舎（懇親会参加費：6,000円）

【講演会講師・テーマ】講師：早稲田大学商学学術院教授 和田 宗久 先生

テーマ：「近時の社会科学からみた企業の意義・役割」



総会開会の挨拶をする上田純子
当会副会長



稲士会

稲士会散策企画「横浜三溪園」のご報告 2025年5月18日(日)

稲士会の春の散策企画（横浜三溪園）を2025年5月18日(日)に開催しました。美しい初夏の三溪園と山下公園を散策し、美味しい中華料理を堪能しながら、親睦を深める機会となりました。

【開催日時】2025年5月18日(日)

【参加費】8,000円

（昼食代・シーバス乗船料含む）

【集合場所】横浜三溪園入口

【行程】

10:20 三溪園園内散策

12:00 ぶらり三溪園BUSにて中華街へ

12:45 中華ランチ

（「状元樓（横浜中華街本店）」）

昼食後、中華街から「ガーデンネックレス

横浜2025」開催中の山下公園へ

15:50 シーバス乗船

16:30 横浜駅（ヨコハマバイクオーター）にて解散



氷川丸にて



第32回勉強会(秋の勉強会)を2025年10月25日(土)にWEBオンライン開催します。講師は徳永潤子会員、テーマは「健康経営を生き残り戦略に一社労士に期待される関わりーのべ2万人の働く体に触れてきた鍼灸マッサージ師だからお伝えできることー」です。勉強会を通して相互の研鑽を図るとともに、稲門会の輪を広げる機会としていただければ幸いです。一人でも多くの会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【開催日時】2025年10月25日(土) 13:30~15:00

【開催方式】Zoom利用によるWEBオンライン開催

【講師】徳永潤子 会員(東京会)
はり師・灸師・あんまマッサージ指圧師

【テーマ】「健康経営を生き残り戦略に一社労士に期待される関わりーのべ2万人の働く体に触れてきた鍼灸マッサージ師だからお伝えできることー」

《徳永潤子会員プロフィール》

鍼灸マッサージ師・社労士・健康経営エキスパートアドバイザー
損保会社勤務を経て国家資格を取得。治療院での勤務期間に社労士資格を取得するも脳脊髄液減少症により長期療養する。回復後は整体師の夫と紹介制治療院を営み15年目。昨年渋谷支部に登録し、訪問施術や健康講座を通じて職場の健康づくりをサポート。

【参加費】無料

【申込み】次のアドレス宛に、お名前、ご自身のメールアドレス、電話番号をご記載の上メールにてお申し込みください。office@hrm-solution.jp 申込み締切：10月17日(金)



ラグビー早慶戦(11月23日)観戦のお誘い 10月25日(土) 申し込み締切

本年もラグビー早慶戦が恒例の11月23日に開催されます。当会では昨年に引き続き観戦会を企画しました。皆さま奮ってご参加を下さいますようお願い申し上げます。座席は抽選となるため、抽選漏れとなり購入できない場合があります。予めご了承ください。

1 日時 11月23日(日) 14時キックオフ

2 場所 秩父宮ラグビー場

3 対戦相手 慶應義塾大学

4 チケット 一般席のチケットを会にて立て替えて購入、当日現金にて集金させていただきます。(秩父宮ラグビー場の料金改定で本年度の料金は決まり次第ラグビー部より連絡が入ります。昨年は2,000円でした。)

5 申込締切・その他 10月25日(土) 申し込み締切
当会ホームページの[Googleフォーム](#)にて10/25までにお申し込みください。
集合場所、時間等の詳細は追って申込者の方にお知らせします。

6 本件の連絡先 sr.kagawa.sfc@gmail.com
090-2626-0519(香川)

7 その他 本年度もチケットは原則的に現地にての引渡とさせていただきます。
(郵送が必要な方は、事前に振込していただくため、振込手数料とレターパックプラスの実費負担があります。また、参加にはチケット購入代の他、雑費がかかります。)



予告

創立25周年記念式典・記念講演会 開催のお知らせ

2026年1月24日(土) 早稲田大学小野記念講堂

2001年7月設立の当会は、今年創立25周年を迎えることとなりました。この節目に当たり、毎年12月に開催される「講演と懇親の夕べ」を2026年1月に繰り延べ、「創立25周年記念式典・記念講演会」として開催します。ハイブリッド形式で行われ、WEB参加の皆さまは全国何処からでも参加可能です。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2026年1月24日(土) 12:40~18:45

2. 式典会場：早稲田大学小野記念講堂(27号館地下2階)

来場参加&WEB参加(Zoom会議システム)のハイブリッド形式で開催

※ 詳しいリモート参加方法等については、ご登録いただいているメールアドレス宛に後日改めてご案内します(メールアドレスを未登録の方は、事務局の市村(TEL:03-5876-3147)まで)



3. 創立25周年記念式典・記念講演会スケジュール：

12:30~ 受付開始

12:40~13:40 創立25周年記念式典

- i 功労者の表彰等
- ii 大学からのご挨拶
- iii 校友会からのご挨拶
- iv 来賓ご挨拶

13:50~15:30 創立25周年記念講演会

講師：早稲田大学法学学術院法学部教授 水町勇一郎先生

※演題未定、Zoom利用のオンライン配信を行います。

15:30~16:00 記念撮影

※ 記念式典及び記念講演会は、参加費無料



4. 祝賀会

祝賀会場 リーガロイヤルホテル東京「ダイヤモンド」の間

開催時間 16:45~18:45

会 費 13,000円

※ お支払い方法等の詳細は追って10月にご案内いたします。



5. 参加申し込み方法

文書送付およびホームページにより追ってご案内いたします。

2025稲門祭&HOME COMING DAY 第21回参加（ボランティア年金 労務相談員募集）のお知らせ 2025年10月19日（日）早大キャンパス

早稲田大学ホームカミングデー「年金・労務相談コーナー」 相談員等の募集について

相談員経験の有無を問いません！

母校早稲田大学の今年の「稲門祭&ホームカミングデー」は、10月19日（日）に行われます。当会では2003年以来、稲門祭&ホームカミングデーに「年金労務相談コーナー」を設け、稲門祭を楽しみながら校友と交流・親睦を深める機会とすることとしており、本年も出店することになりました（通算21回目の参加。2020、2021年は新型コロナ蔓延防止のため、出店行事そのものが一律中止されました）。つきましては、次のとおり相談コーナーの相談員等へご協力いただける方をりますので、ご希望の方は奮ってご参加下さいませ様ご案内申し上げます。



○年金労務相談コーナー相談員等について

- 1. 開設日時** 10月19日（日）10時半～15時半（10時集合）
なお、相談コーナー終了後に懇親会を予定しています（会費制）。
 - 2. 場 所** 本部キャンパス8号館前（大隈銅像前にテントを設置）
 - 3. 相談員担当時間** 1～2時間の交替制
 - 4. 報酬** 等は、ありません。
 - 5. ご協力お申込み** ホームページにあるURLから 所定のGoogleフォームにいき、下記①～④をご記入の上、送信してください（事務局に自動送信されます）。
相談員以外でご協力いただける方も奮ってご参加ください。（申込締切：10月10日（金））
① 氏名 ② 連絡先メールアドレス ③ 緊急連絡先電話番号 ④ 当日お手伝い頂ける内容（a～cからご選択下さい） a 労務相談、b 年金相談、c その他（設営/清掃/後片付けetc.）重複選択可です。
※ 当日の運営の詳細については、参加者宛てに後日あらためてご連絡いたします。
- ① ホームカミングデーについて
卒業後25年・35年・45年・50年目の校友が早稲田大学に招待され、同時に校友会主催の稲門祭も行われます。詳細は校友会ホームページをご覧ください。
- ② 年金労務相談コーナーについてのお問い合わせ先
社会保険労務士稲門会事務局 幹事長（香川）
電話 048-859-6836 email srwaseda2001@xqe.biglobe.ne.jp。



■**当会ホームページ** 随時更新しています！最新情報の確認にご活用ください！
（「社労士稲門会」で検索、または URL: <http://sr-waseda.net>）

■**当会へのご入会を希望される方は**、ホームページで当会会則をお読みになったうえで、「入会申込み」ページにて入会申込書をダウンロードし、必要事項をご入力してください。さらに、年会費（5,000円）をホームページ記載の指定の口座にお振り込みいただき、入力済みの入会申込書を、下記窓口までメールに添付してお送りください。

・**入会申込受付窓口** : 社会保険労務士いちむら事務所 市村 剛史（事務局担当）
メールアドレス：info@office-hci.jp

【発行】社会保険労務士稲門会

《事務局所在地》 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-13-14

大南経営労務アドバイザーオフィス内

TEL:03-3971-2152 FAX:03-5396-3802